



学校だより



5月号

令和6年(2024年)
4月30日(火)

横浜市立洋光台第二小学校

笑顔（スマイル）あふれる洋二小に

副校長 佐藤 朋実

久しぶりに満開の桜のなかで迎えた始業式・入学式から一か月が過ぎようとしています。新しい学年・学級にもだんだんと慣れてきた様子で、授業中や休み時間などに子どもたちのさまざまな姿を目にするようになりました。

その中の一つに、5・6年生が取り組む委員会活動の中の「常時活動」と言われる活動があります。それぞれの委員会が学校生活をより楽しく豊かにするために必要な活動を分担し、主に朝や休み時間などの時間を使って行います。今年度も第1回目の活動日のあと、本格的に活動が始まりました。職員室に鍵や必要な物品を取りに来たり、担当の役割に向かったりする様子がとても意欲的で、これからの活躍が楽しみです。

今年度の活動の立ち上げにあたって、委員長・副委員長の選出や年間計画の立案に子どもたちの考えがより生かされるように、進め方や子どもたちへの投げかけなどを担当が工夫したところがありました。子どもたちが活動に、より主体的にかかわることで、自分の役割を果たそうとする責任感や果たしたときの達成感、自己有用感が高まることを目指した取組です。そうした思いを感じたときには、きっと素敵な笑顔（スマイル）が生まれることと思います。

4月号の巻頭言にも示されている学校教育目標には

「誰もが笑顔の 洋光台第二小学校を目指して」

とあります。私が着任のために洋二小を初めて訪れた時、大きな「スマイル」（マスコットキャラクター。「スマイルくん」とも呼ばれています。調べてみたら二代目の「スマイル」だそうです。）が迎えに来てくれました。洋二小の目指す学校像のシンボルになっていると感じました。

この「笑顔」は、例えば楽しく学習や活動に取り組んでいるとき、友達や周りの人と楽しく過ごしているとき、達成感や満足感、安心感を感じているときなどさまざまな場面で生まれます。しかし、学校は一つの社会であり、集団生活を送り、学びや育ちの場です。その過程では「笑顔」ばかりではなく、いろいろな姿があるでしょう。問題に真剣に向かっているとき、思うようにいかなくて悩んでいるときなど、笑顔ではいられなくなる時もあると思いますが、その先に笑顔が生まれるように指導・支援していきたいです。そして、それは学校だけの力では充分にはできません。保護者や地域の方々との協働が必要です。先日の授業参観・懇談会には、多くの方にご参加いただき感謝いたします。また、PTAの委員の顔合わせがあり、活動が本格的に始まりました。5月には学校運営協議会も予定されています。子どもを真ん中に学校・保護者・地域がチームとなって、たくさんの笑顔を生み出していかれたらと思っています。

洋光台第二小学校ホームページ『校長室の窓』では、子どもたちや学校の様子を発信しております。
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokodai2/index.cfm/1,0,68,html>

